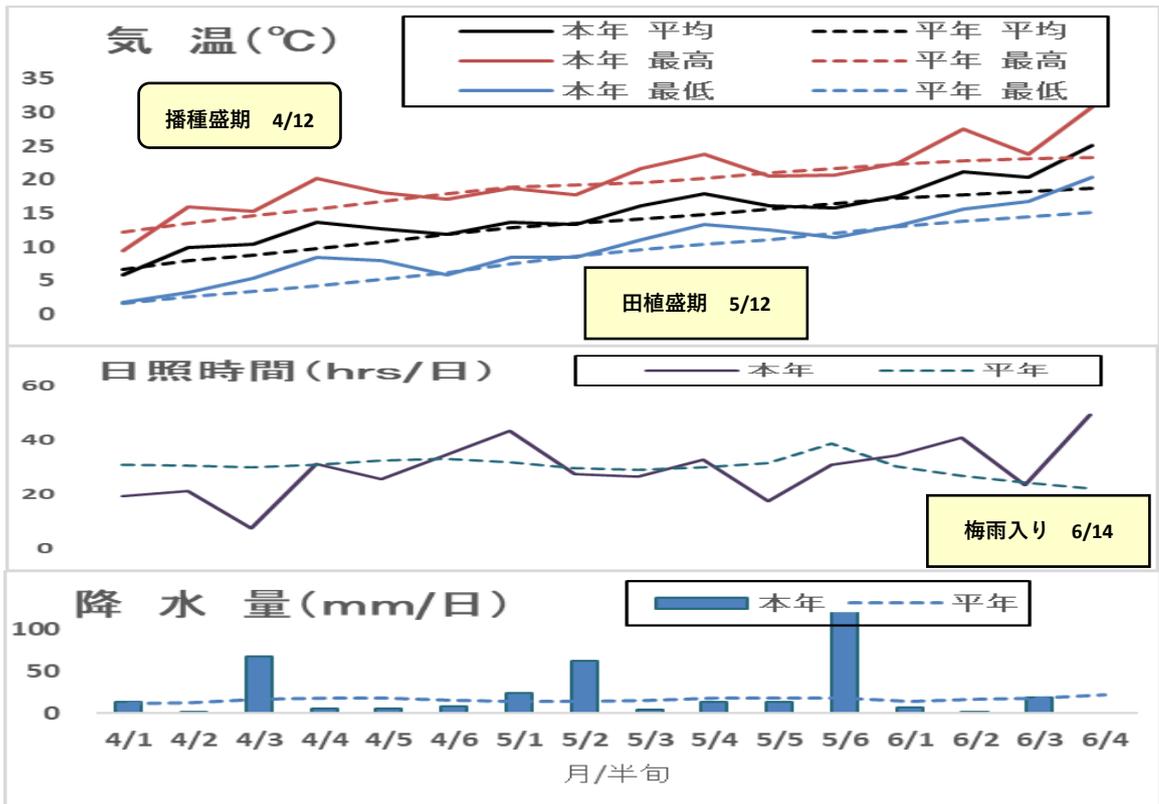


## ～5月上旬植えは有効茎数を確保 中干しの準備を！～

### 1 令和7年の気象経過（古川アメダス）と東北地方の1か月予報



#### ◆6月19日発表 東北地方の1か月予報(6月21日～7月20日までの天候見通し)【気象庁ホームページより】

- ・ 平年に比べ曇りや雨の日が少ない。期間の前半は、気温がかなり高くなる見込み。
- ・ 向こう1か月の気温は、高い確率80%、平年並み若しくは低い確率10%。
- ・ 東北太平洋側の降水量は、多い若しくは平年並みの確率30%、少ない確率40%。
- ・ 日照時間は、多い若しくは平年並みの確率40%、少ない確率20%。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	東北地方	向こう1か月 06/21～07/20	10% (低い)   10% (平年並)   80% (高い)
		1週目 06/21～06/27	10% (低い)   10% (平年並)   80% (高い)
		2週目 06/28～07/04	10% (低い)   20% (平年並)   70% (高い)
		3～4週目 07/05～07/18	10% (低い)   30% (平年並)   60% (高い)
降水量	東北日本海側	向こう1か月 06/21～07/20	30% (低い)   40% (平年並)   30% (高い)
	東北太平洋側	向こう1か月 06/21～07/20	40% (低い)   30% (平年並)   30% (高い)
日照時間	東北地方	向こう1か月 06/21～07/20	20% (低い)   40% (平年並)   40% (高い)

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

## 2 生育状況（6月20日現在）

(1) 作況試験 5月9日植え ひとめぼれ（古川農業試験場）

- ・草丈は39.7cmで平年比108%，茎数は539本/m<sup>2</sup>で平年比111%である。
- ・葉色（GM値）は45.6で，平年よりやや高い。
- ・葉数は8.4枚で平年より0.2枚多く，生育ステージは概ね平年並みと見込まれる。

移植日	草 丈			茎 数			葉 色			葉 数		
	本 年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (本/m <sup>2</sup> )	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (GM値)	前年差 (GM値)	平年差 (GM値)	本 年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
5月9日	39.7	103	108	539	93	111	45.6	2.6	1.4	8.4	0.1	0.2

(2) 生育調査ほ（古川農業試験場及び各農業改良普及センター）

- ・品種別の草丈は37～40cm程度で，平年比99～106%である。
- ・茎数は307～389本/m<sup>2</sup>，平年比89～94%で，平年を下回っている。
- ・葉色（GM値）は41～43程度で，平年よりやや低い。

●「作況試験」や「生育調査ほ」の調査結果から推察すると，草丈は概ね平年並みだが，茎数は平年よりやや少なく，生育ステージは平年並み～やや遅れていると思われる。

品種名	草 丈			茎 数			葉 色		
	本 年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (本/m <sup>2</sup> )	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (GM値)	前年差 (GM値)	平年差 (GM値)
ひとめぼれ	37.0	97	99	336	89	94	43.1	-0.3	-0.4
ササニシキ	37.3	104	105	389	101	89	41.0	-0.7	-0.9
つや姫	39.5	99	106	307	83	92	42.9	0.3	-1.0

- ・移植時期別（ひとめぼれ）の草丈は32～42cmで，平年比95～110%である。
- ・茎数は268～493本/m<sup>2</sup>，平年比88～121%である。中旬・下旬植えは平年より少ない。
- ・葉色は41.8～45.1で，概ね平年並みである。

●生育は前回調査時より回復し，5月上旬植えは有効茎数が確保されたと思われる。中旬～下旬植えは，有効茎数確保に至らないほ場が多い。

移植時期	草 丈			茎 数			葉 色		
	本 年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (本/m <sup>2</sup> )	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (GM値)	前年差 (GM値)	平年差 (GM値)
5/1～9	42.2	98	110	493	95	121	45.1	0.2	1.1
5/10～19	36.1	100	98	297	93	88	42.9	-0.1	-0.2
5/20～31	31.7	104	95	268	79	88	41.8	-0.6	-2.4

## 3 今後の管理

(1) 中干しと水管理

- ・有効茎数（400～500本/m<sup>2</sup>）が確保された水田では，根の活力向上や土壌の地耐力向上のため，中干しを実施する。中干しの期間は，7～10日程度を目安とする。中干しの程度は，田面に小さな亀裂が入り足跡がつく程度の固さとする。排水不良田や排水に時間がかかる大区画水田では，溝切りを実施すると排水が容易になる。
- ・中干しの終了後に急激に湛水状態にすると，土壌の還元が急激に進んで酸素不足となり根を痛めやすいので，中干しの終了直後は走り水程度として徐々に湛水状態に戻す。
- ・茎数が不足気味の水田では，引き続き水深2～3cmの浅水管理を行い，分けつを促進する。

(2) 病害虫防除【宮城県 病害虫防除所ホームページより】

① いもち病

- ・東北地方は、6月14日頃に梅雨入りしたとみられる。
- ・宮城県病害虫防除所が公表した「発生予報第4号（6月18日発行）」によれば、葉いもちの発生開始期は「平年並みの7月第1半旬」で、発生量は「平年並」と予想されている。
- ・「葉いもちの感染好適条件の出現状況（BLASTAM）」による推定では、6月16日までに感染好適条件の発生が、県南部から北部の広い地域で確認された（下表参照）。

日付	駒ノ湯	気仙沼	川渡	築館	米山	志津川	古川	大衡	鹿島台	石巻	女川	新川	塩釜	仙台	白石	蔵王	亘理	丸森
6/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/11	—	○	—	●	—	●	●	●	●	○	●	○	●	●	●	●	●	●
6/12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/15	—	○	○	○	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—
6/16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

●	好適条件	葉いもちの大量感染に好適な気象条件(葉面湿潤時間10時間以上, 平均気温15~25℃, 前5日間の平均気温20~25℃)が出現した日
○	準好適条件1	当日の条件は満たしているが, 前5日間の平均気温が条件から外れている場合
△	準好適条件2	葉面湿潤時間の長さのみ好適条件を満たしている場合
—	好適条件なし	
?	判定不能	

- ・梅雨に入り、葉いもちの発生しやすい時期になるので、早期発見・早期防除に努める。
- ・直播栽培など、箱処理剤を使っていない場合は、適期に水面施用剤を散布する。

② 斑点米カメムシ類

- ・畦畔や雑草地・牧草地等の雑草は、計画的に刈り取り、カメムシ類の増殖を抑制する。
- ・水田内でのイヌホタルイ・ノビエ等の残草は、「アカスジカスミカメ」の侵入を促す。残草が目立つ場合は、後期除草剤等で防除する。

#### 4 乾田直播栽培における今後の管理

- ・4月～5月が平年並みの気温で推移したことにより、出芽・苗立ちは前年より遅く、6月20日現在の生育は草丈25～35cm、葉齢は4～7葉程度で、ようやく分けつが始まった。
- ・苗の生育が揃ったら5cm程度の水深を確保し、雑草防除のため土壌処理剤（初中期剤）を散布する。散布後の管理は、移植栽培と同様とする。